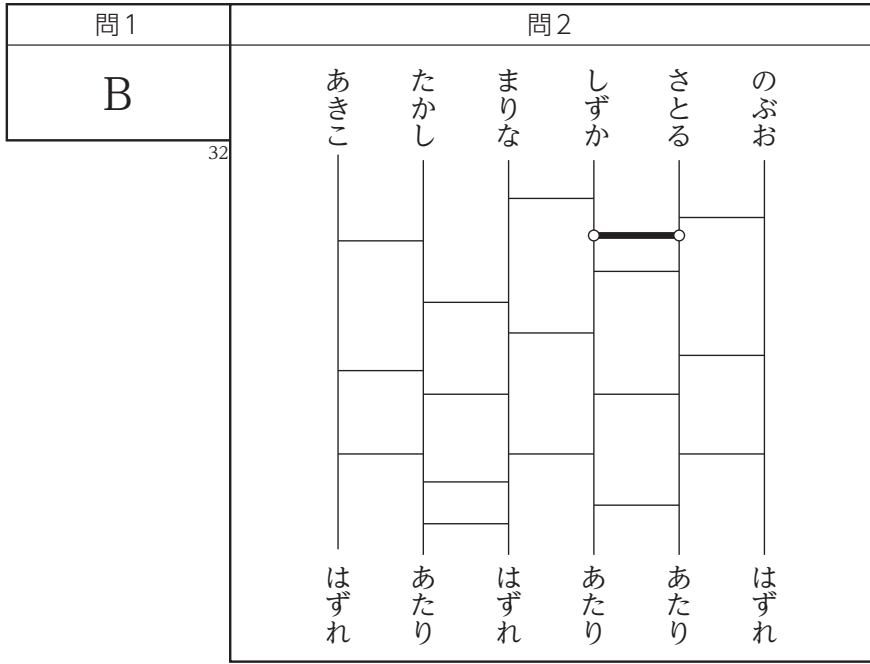




【例】													(5)																	
☆	か	ら	東	へ	3	0	0	m	進	み	,	1	つ	目	の	角	を	左	に	曲	が	り	ま	す	。	ま	っ	す	ぐ	
北	へ	進	み	,	2	つ	目	の	交	差	点	を	右	に	曲	が	り	ま	す	。	す	る	と	,	2	0	0	m	ほ	
ど	進	ん	だ	右	手	に	図	書	館	が	見	え	ま	す																

2



問3									
ア	○	イ	×	ウ	×	エ	×	オ	○
34		35		36		37		38	

問4	問5				問6						
25	まい	(1)	1	まい	(2)	4	まい	5	まい	1	まい
39			40			41		42		43	

【解説】

① 地図の読み取りに関する問題

(1) **B1** 情報を獲得する 比較 知識

地図上の「☆」から見えるものの方位を考えます。特に方位について何も指定されていないので、ここでは、地図の上が北になります。8方位を使って表すことに注意しましょう。

- ① 寺院の記号は「卍」です。「☆」から西の方位にあります。
- ② 茶畑の記号は「.:」です。「☆」から北西の方位にあります。
- ③ 郵便局の記号は「〒」です。「☆」から北の方位にあります。

(2) **B1** 情報を獲得する 比較 知識

「☆」から東に600m進んで、北へ500mくらい進むと右側に「田」があります。よって、④は「田」です。このとき、左側に「▽」があります。よって、⑤は「畑」です。さらに北へ進むと、右側に「冂」があります。よって、⑥は「神社」です。

(3) **B1** 知識 再現する 比較

地図上の点線(――)のように、「☆」から西へ300m進んで、北へ150m、西へ250m、さらに北へ100m進んだ左側にひろゆき君の家があります。すると、ひろゆき君の家は次の図の(●)とわかります。ここから、地図上の点線(----)のように、小学校の前の道を通って城跡に行きます。城跡の記号は「ㄣ」です。ひろゆき君の家から城跡まで29マスあると考えると、 $50 \times 29 = 1450$  (m)より、ひろゆき君の家から城跡まで、およそ1400mとなります。小学校をすぎて城跡に向かうとちゅう、左側に見える建物は消防署「ㄚ」と交番「X」です。

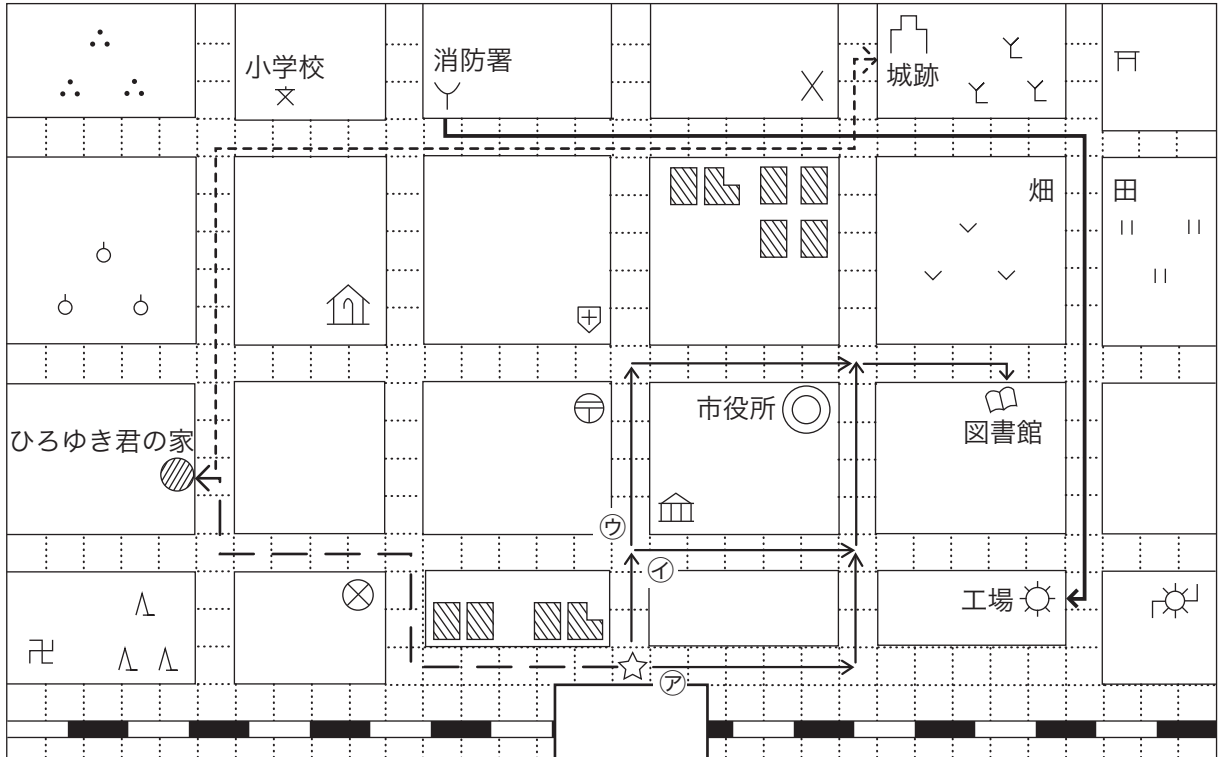
(4) **B1** 情報を獲得する 置き換え 推論

救急車は田と畑の間の道を通って、消防署から工場まで最も近い道を通りました。救急車が通ったと考えられる道は次の図の太線(——)のようになります。

(5) **C1** 理由 推論 具体・抽象

地図上の「☆」から図書館「ㄣ」までの行き方はいくつか考えられます。それらのうち、最も近い道は次の図の直線(——)㉑~㉒の3通りになります。たとえば、㉑の行き方であれば、次のように説明することができます。「『☆』から東へ300m進み、そこからさらに北へ400m進んで市役所がある十字路を右に曲がります。すると、200m進んだ右手に図書館があります。」

相手にわかりやすく伝えるためには、目印となる建物、方向を表す北や南、右や左などの言葉を説明にもりこむとよいでしょう。この問題では、①「☆」から図書館までの行き方を説明しているかどうか、②①の行き方が最も近い道を通っているかどうか、③①の説明に目印や方向を示すなど、わかりやすい工夫をしているかどうか、④①の説明に過不足がないかどうか、⑤表現や表記に誤りがなく、「きまり」を守っているかどうかを中心にしています。



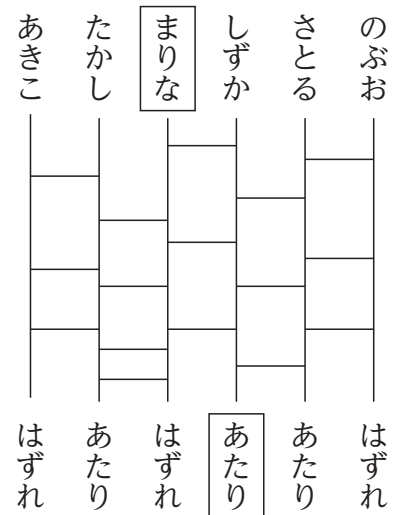
②

**問1** B1 情報を獲得する 再現する

先生の会話にあみだくじのやりかたが書かれています。逆に「あたり」から上へ進んでいくと、どこが「あたり」の場所になるのかがわかります。

**問2** B1 順序立てて筋道をとらえる 調べる

問1のように「あたり」から上へ進んでいくと、右図の「あたり」の箇所がちがうことがわかります。したがって、その「あたり」の箇所からのぶおさんのところへ行きつくようにするための横線を考えます。すると、しずかさんとさとるさんのたて線の間に横線を入れることがわかります。さらに、しずかさんのとなりのまりなさんと、さとるさんに行きつかないように、横線を入れる高さに注意しましょう。



**問3** B1 情報を獲得する 再現する

アンケート結果の表1の数字を見くらべたり、計算したりして理解します。

ア クイズ、手品、わ投げのうち、3位が最も多いのは、手品（3位は1年生、3年生、5年生、6年生）なので、正しいです。

イ  $85 \div 2 = 42$ あまり1より、クイズを選んでいる3年生の38人はそれより少ないので正しくありません。

- ウ わ投げが2位の学年は1年生(26人)、3年生(35人)、5年生(23人)、6年生(28人)です。これらの人数をすべて足すと、 $26+35+23+28=112$ 人になります。90人にならないため、正しくありません。
- エ 1位の人数が最も多いのは2年生の48人なので、正しくありません。
- オ アンケート結果の2位の人数のうち、最も多い学年は3年生の35人、最も少ないのが4年生の22人ですから、 $35-22=13$ 人より、正しいです。

**問4** **B1** **情報を獲得する** **再現する**

おかし1つに交か<sup>け</sup>んできるコインは青1まい、青1まいに交か<sup>け</sup>んできるコインは赤5まいです。赤1まいに交か<sup>け</sup>んできるコインは黄5まいなので、必要<sup>ひつよう</sup>な黄コインは $5 \times 5 = 25$  (まい) です。

**問5** **B1** **情報を獲得する** **順序立てて筋道をとらえる**

交か<sup>け</sup>んできない黒コインをのぞいて考えると、3人が持っているコインは「たかしさん：赤2まい」「しずかささん：赤1まい、黄2まい」「のぶおさん：黄4まい」なので、3人合わせると「赤3まい、黄6まい」となります。黄5まいを赤1まいに交か<sup>け</sup>んできるので、これは「赤4まい、黄1まい」にあたります。

- (1) 赤があと1まいあると5まいになり、これを青1まい、そしておかし1つに交か<sup>け</sup>んできます。
- (2) 黄があと4まいあると5まいになり、赤1まいと交か<sup>け</sup>んできます。これで赤が5まいになるので、青1まい、そしておかし1つに交か<sup>け</sup>んできます。

**問6** **B2** **順序立てて筋道をとらえる** **調べる**

まりなさんが10まい引く前の「赤6まい、黄7まい」について、黄5まいを赤1まいに交か<sup>け</sup>んすると「赤7まい、黄2まい」となります。ここから、おかし2つと交か<sup>け</sup>んするのにふやすコインを、赤のまい数ごとに考えます。

①赤が3まい以上のとき

赤を3まい以上ふやすと、赤のまい数は10以上になります。赤10まいを青2まいに、そして青2まいをおかし2こに交か<sup>け</sup>んできますが、このとき少なくとも黄2まいがあまってしまう。あまったコインは黒だけなので、これは問題<sup>じょうけん</sup>の条件にはあてはまりません。

②赤が2まいのとき

赤を2まいふやすと「赤9まい、黄2まい」となります。ここからさらに黄を3まいふやすと、黄5まいを赤1まいに交か<sup>け</sup>んできます。これで赤10まいを青2まい、そしておかし2こに交か<sup>け</sup>んでき、赤と黄のあまりがなくなります。このとき、10まいにふくまれる黒コインは $10 - (2 + 3) = 5$  (まい) です。

③赤が1まいのとき

赤を1まいふやすと「赤8まい、黄2まい」となります。ここからさらに黄を8まいふやすと、黄10まいを赤2まいに交か<sup>け</sup>んできます。赤10まいを青2まい、そしておかし2こに交か<sup>け</sup>んでき、赤と黄のあまりがなくなります。このとき、10まいにふくまれる黒コインは $10 - (1 + 8) = 1$  (まい) です。

④赤が0まいのとき

「赤7まい、黄2まい」から赤をふやさないときは、黄を13まいふやすと、黄15まいが赤3まいに交か<sup>け</sup>んでき、赤が10まいになります。ただし、まりなさんが引いたコインは10まいなので、黄13まいを引くことはできません。

よって、黒のコインのまい数として考えられるのは、②の5まい、③の1まいの2通りです。